

令和5年度全建賞 推 薦 調 書
安全・安心確保に資する等の社会貢献活動並びに公共事業全般に係る広報活動・調査研究の部
(安全確保・広報・調査研究の部)

| | |
|---------------|---|
| ふりがな | でいーえつくすぱーくとうをかいせつしいんふらぶんやととりくむでいーえつくすをけんせつぎょうからいっばんのかたまではばひろくこうほう |
| 1. 取組(活動)の名称 | DX パーク等を開設しインフラ分野で取り組む DX を建設業から一般の方まで幅広く広報 |
| 2. 事業(施策)実施期間 | 令和3年8月16日 ~ (現在進行中) |
| 3. 事業費(調査費等) | 5 百万円 |
| 4. キーワード | DX パーク、建設技術展示館、関東 DX・i-Construction 人材育成センター |

5. 公共事業全般に関する取組の分類(下記3つの③のうち、いずれかに○印)

| 取組の分類 : 該当に○印 | ③-1 安全・安心分野 | ③-2 広報活動分野 | ③-3 調査研究分野 |
|--------------------------|--------------------------|--|--------------------------|
| アピールする 1) 「手段」 | () () () () | (g)体験型コンテンツ (c)バーチャル展示館 (d)出張 DX パーク、夏休み子供体験教室 | () () () () |
| アピールする 2) 「秀でた 成果」 | () () () () | (a)公共事業全般に対する理解・信頼の向上 (c)コミュニティの形成 () () | () () () () |

6. 事業概要

令和3年4月に開所した「関東 DX・i-Construction 人材育成センター」では、インフラ分野の DX 推進に向けた受発注者の人材育成に取り組んでいるが、広報施設である建設技術展示館と連携し、DX技術に関する展示のほか、令和3年8月に開設したDXパークにて「どなたでも楽しくDX技術が学べる体験型コンテンツ」を用意し、建設業から一般の方まで幅広く広報している。

7. 特にアピールしたい点

DXパークでは、レーザースキャナや VR 等の実機を用いた触れる体験に楽しさも加えながら実施している。開設から3年目を迎えた令和5年度から新たなコンテンツの拡充を図り、直近半年間で約2,000名の方が体験され、過年度の約3倍のペースと大変好評を得ている。また、建設技術展示館 HP に開設した「バーチャル展示館」や出張 DX パークによるさらなる広報活動を行っている。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



建設技術展示館(関東技術事務所構内)



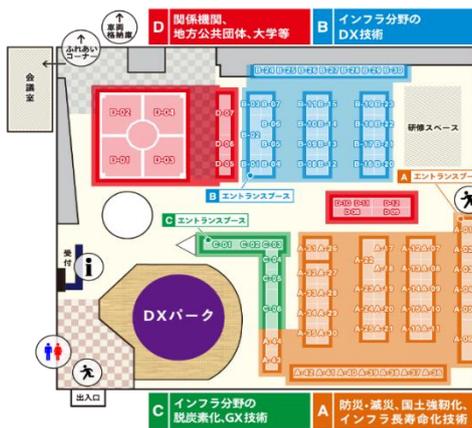
DXパーク(建設技術展示館内)

9. 事業内容・添付資料

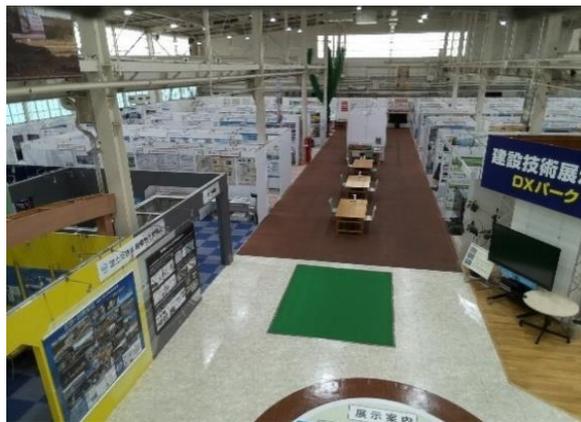
1. 建設技術展示館

国民の暮らしを支えている建設技術に関係者に幅広く発信するとともに、一般の方々や次世代を担う若い方にも建設技術への関心と理解を深めていただく場として平成11年度に関東技術事務所の構内に常設展示場として開館。

令和5年5月に第16期目のリニューアルオープンをし、「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化」「インフラ分野DX」「インフラ分野の脱炭素化、GX技術」に関する技術展示を行っている。



建設技術展示館のフロアマップ



建設技術展示館内状況(右手にDXパーク)

2. DXパークでの体験を通じた広報活動

建設技術展示館内に令和3年8月に開設したDXパークでは「どなたでも楽しくDX技術が学べる体験型コンテンツ」を用意し、体験を通して建設業から一般の方まで幅広く広報している。

1) レーザースキャナ体験

来館者を構造物に見立てて自由なポーズを取ってもらい、レーザースキャナで3次元測量した点群データを実際に見てもらうことで、3次元測量について学んでいただく体験。



レーザースキャナによる測量状況



3次元測量結果(点群データ)の説明状況

9. 事業内容・添付資料

2) トータルステーション体験

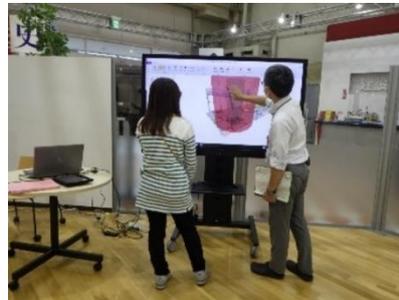
プリズムを使った自動追尾型のトータルステーションを使い、起点からの角度と距離を目測で当てるゲームを通して現在の測量作業が省力化されていることを理解していただく体験。



トータルステーションによる正解(角度と距離)の実測状況

3) BIM/CIM操作体験(※令和5年度より新規)

タッチパネルモニターを使いながら3次元データを操作してあらゆる角度から見ていただくことで、3次元モデルの利便性を実感していただく体験。



河川3次元管内図(左)や道路交差点モデル(右)の操作体験状況

4) VR操作体験(※令和5年度よりVRコンテンツを拡充)

河川管理施設(排水機場)内部や現在事業中の荒川調節池等に関するコンテンツを新たに追加し、事業紹介も兼ねつつ仮想空間の有用性を感じていただく体験。



排水機場の内部(左)や荒川調節池(右)のVR体験状況

3. 情報発信(バーチャル展示館)

建設技術展示館HPにバーチャル展示館を令和5年5月から開設。バーチャル空間で展示館内を見学できるほか、出展技術やDXパークの紹介を行い、興味を持っていただけるようにしている。



バーチャル展示館(建設技術展示館HP)

9. 事業内容・添付資料

4. さるなる広報活動(出張 DX パーク)

外部で実施される展示会等に「出張 DX パーク」として出展を行い、来場者に対して DX パークの紹介や体験を通して積極的な広報活動を行っている。



出張 DX パークの出展状況(建設技術展2023関東)

5. イベントの開催

近隣小学生を対象に子供達や保護者がさまざまな体験を通して建設技術や DX 技術に興味を持ってもらえるように夏休み期間中に「夏休み子供体験教室」を開催している(令和5年度は8月1日に実施。約600名が参加)



6. 秀でた成果

DX パークでは令和3年8月に開設して以降、官公庁や建設業を含む民間企業、学生や地域の方など約4,100名に体験いただいた(令和5年11月末時点)。開設から3年目を迎えた令和5年度からは新たなコンテンツを拡充し、直近半年間で約2,000名に体験いただいております。過年度の約3倍のペースとなっている。

また、近隣の方がお子さん連れで来館し、DX パークを見学するケースもあり、建設技術展示館が地域とのコミュニティの形成にも役立っていると考えている。